



これまで以上の力を結集し、挑んでいこうとあいさつする田上武・会計

はじめに、主催者を代表して田上武・部落解放人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長から「私たちが営々とつづけてきた運動をあざ笑うかのような事件が各地で発生している。まだまだ頑張らなあと実感させられた。各地域から参加された方がたに、今まで以上のご尽力をお願いしたい。力をあわせ、大きな課題にたいし

対和歌山県交渉ひらく

各支部から126の要求をかけた

対和歌山県交渉を11月20日、規模を縮小してひらき、県実行委員会や行政、支部から、約120人が参加した。

(1ページから)
紀美野町長、中阪雅則・かつらぎ町長、岡本章・九度山町長、平野也・高野町長、上山章善・湯浅町長、西岡利記・広川町長、久留米啓史、日高川町長、井潤誠・白浜町長、奥田誠、上富田町長、堀順一郎・那智勝浦町長、山口賢二、北山村長、田嶋勝正・串本町長、岸本健・和歌山県議会議長、藤山将材・和歌山県自由民主党県議団会長、長坂隆司・和歌山県議会議員、井上直樹・和歌山市議会議長、土井裕美子・橋本市議会議長、安達克典・田辺市議会議長、村垣正造・紀の川市議会議長、伊都堅仁・紀美野町議会議長、雑賀増己・かつら

ぎ町議会議長、松本典久・湯浅町議会議長、奥忠信・広川町議会議長、西尾智朗・白浜町議会議長、大石哲雄・上富田町議会議長、坂本卓巳・古座川町議会議長、結城力・串本町議会議長
●各種団体
加藤康夫・和歌山県職員労働組合執行委員長、池田祐祐輔・日本労働組合総連合会和歌山県連合会会長、西上宏明・和歌山同和問題企業連絡会代表幹事、赤松明秀・同和問題にとりくむ和歌山県宗教団連絡協議会議長、和歌山県農業協同組合中央会、勝本信一・和歌山県商工会議所連合会会長、森田敏行・和歌山県商

工会連合会会長、裏野勝也・和歌山県平和フォーラム代表、野口道彦・(一社)和歌山人権研究所理事長、岸本周平・国民民主党和歌山県総支部連合会代表、山中敏生・国民民主党和歌山県総支部連合会幹事、谷口和樹・立憲民主党和歌山県総支部連合会代表、東山昭久・社会民主党和歌山県連代表代行、添田隆昭・高野山真言宗宗務総長、北道剛士・本州化学労働組合執行委員長、南喜貴・日本郵政グループ労働組合議長、長田吉文・自治労和歌山県本部執行委員長、奥田匡敏・N.T.T労働組合和歌山分会分会長、南出進昭・和歌山教職員組合執行委員長、平木哲朗・

和歌山県市長会会長、小谷芳正・和歌山県町村会会長、山下直也・自由民主党和歌山県支部連合会幹事長、角幸彦・(公財)和歌山県宅地建物取引業協会会長、藤井幹雄・弁護士、谷川雅彦・(一社)部落解放・人権研究所代表理事
●組織内
組坂繁之・中央本部、堀田光政・愛知県連合会、古田健二・岐阜県連合会、西島藤彦・京都府連合会、赤井隆史・大阪府連合会、坂本三郎・兵庫県連合会、川口正志・奈良県連合会、和泉義博・香川県連合会、有澤明男・高知県連合会、竹嶋彰宏・山口県連合会(故人)

て挑んでいきたい」と力強いあいさつがあった。つづいて、下宏・副知事より基本要請の回答を含めたあいさつのおと、各部署にわかれて交渉がおこなわれた。

対県交渉 各部署要求

【農林水産部】

新宮市食肉処理場問題や磯根漁場再生事業問題については、今後も事業を継続して実施できるようにと取り組んでいくと方向性が示された。漁具倉庫の屋根防水については、各市町村からあげてきてもらえれば、農林水産部として予算を確保し、対応していくと示された。また、農業用水路、溜池、農業施設の育成など部落の地域で厳しい実態があるの

う申し入れをおこなった。

【国土整備部】

公営改良住宅の老朽化が著しい支部が多く、和歌山県では「公営住宅等長寿命化計画」が、各市町にも「住宅長寿化計画」が策定され

る。さらに、農業用機械や倉庫・ハウス等被災、害虫・鳥獣被害対策等については、あげてきてもらえれば農林水産部として予算を確保し、とりくんでいくと回答があった。最後に、残された課題については早急な対応を申し入れた。

10/7(逝去)、津川俊仁・鳥取県連合会
(順不同・敬称略)

県連大会 全体討論

●歌阪憲彦代議員・平井

(和市・海南)



県連大会の運営について、高齢者、障がい者、持病をもっている人、身体の状態から参加できない人の意見を反映できる運営方法についての議論が、大会当日までのあいだにあったのか。

また、今年役員改選の選挙もあるなかで大衆運動である大衆(高齢者、障がい者達を含む)の意見は反映されていたのか。

●山本潤代議員・古和田

(紀北)



西光万吉没後50周年の記念集會を9月20日に開催した。3月20日の西光さんの命日に開催して、各支部からの参加を得る予定だったが、コロナ禍の状況で参加人員を制約した形となり、皆さん方に参加してもらえなかった。各支部の皆さん方には物心両面にわたりご

協力をいただき、開催することができた。当日は西光さんへの思いを奈良県連の川口正志・執行委員長や元中央執行委員の大賀正行さんの記念講演で不戦和栄への思想を共有できた。また、水平社宣言のユネスコ登録についても確認してきた。改めて、お礼を申しあげた。

●松井雅代代議員・杭ノ瀬

(女性対策部)



青年部との研修や泊研修など、さまざまな活動にとりくんできた。コロナ禍の状況で、支部活動がしづらくなっているなか、識字学級を再開した支部もある。ソーシャルディスタンスは気持ちにも距離をつくってしまった。そして、女性の変革はもとより、男性の変革が重要と考える。すべての支部に女性部を組織するために、組織部の協力が不可欠。女性部のない支部長にも協力をお願いしたい。

●小嶋仁史代議員・芦原

(和市)



高齢者の実態は、無年金者、国民年金額が少なく生活苦、生活保護世帯が少なくない。住宅の4割が独居の高齢者であり、孤独死と隣り合わせの状態。支部として、湯浅支部のNPOのとりくみを参考に、とりくみたいと考えている。県連からもさまざまなとりくみを紹介してほしい。また、働きたい高齢者の支援をお願いしたい。

●寺本典司代議員・橋本

(紀北)



12月議会で「部落差別解消にむけた橋本市条例」を提案していくが、規制と救済で議論している。事業所だけに限らず、個人にたいしても、しっかりと取り組んでほしい。そのあたりをアドバイスいただきたい。また罰則についても、罰金等だけでは被害を受けた人は救われない。心のケアを含んだ救済についても教えてほしい。また、コロナウイルスについて、国から指導通達があった内容が差別的なものであった。振興局、県にも訴えたが、県連も協力してほしい。コロナウイルスに感染した事業者は能力を疑う趣旨の内容であり、職業差別にあたるので、職業差別にたいして訴えるので、協力をお願いしたい。